

【概要】

住宅ローン貸出動向調査(2021年度)

I 調査の概要

住宅ローンを取り扱う金融機関(301 機関)に対し、住宅ローンへの取組姿勢、営業戦略、審査、リスク、証券化の動向などに関するアンケート調査を行い、その結果を取りまとめた資料です。

本調査の調査時期は2021年8月～9月(※)、回答機関数は272機関です。

なお、本調査における住宅ローンには、【フラット35】買取型及び【フラット35】保証型は含まれません。

(※)リバースモーゲージの貸出額等の計数に関する設問については2020年度(末)実績、それ以外については2021年6月末時点の状況の回答を依頼

II 調査結果の主なポイント

※< >は、本調査結果の詳細資料中のページ

1 新規住宅ローンへの取組姿勢は、「積極的」が依然として7割程度

<p. 4>

- ・ 新規住宅ローンへの今後の取組姿勢は、「積極的」が69.9%となり、「積極的」が依然として7割程度となっています。

2 リバースモーゲージの貸出実績(年度末残高)については、今回調査においても増加し、右肩上がりの傾向

<p. 13>

- ・ 2020年度の年度末におけるリバースモーゲージの貸出残高(回答のあった金融機関の合計金額)は、1,577億円(前年度から7.6%増)となり、右肩上がりの傾向が続いています。

3 環境配慮型住宅ローンを取り扱っている金融機関の割合は、全体の約1/4

<p. 17>

- ・ 省エネ設備を備えた住宅等の場合に金利引下げ等を行う環境配慮型住宅ローンを取り扱っている金融機関の割合は、24.5%でした。